

大高同窓会報

発行

千葉県立大多喜高等学校同窓会

千葉県夷隅郡大多喜町大多喜481
〒298-0216 TEL 0470-82-2621
URL
<http://www.chiba-c.ed.jp/otaki-h/>
E-mail otaki-h@chiba-c.ed.jp

印刷 (株) サラト
姫路市北条宮の町172番地
TEL 079-284-1380



「讃えよ永遠に われらが母校」(大高校歌3番より)

千葉県立大多喜高等学校長 石川 和之

同窓の皆様には、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。生徒に恵まれ、保護者や同窓会・後援会・地域の方に恵まれ、職員にも恵まれ、感謝の気持ちで仕事をさせていただいております。引き続き、皆様と力を合わせて、本校を盛り立てていきたいと考えています。どうか、よろしくお願いたします。

1900(明治33)年に産声をあげた本校は、2000(平成12)年に100周年記念式典を挙行しています。千年紀(ミレニアム)の考え方でいえば、千年に一度の区切りの年に100周年を迎えたわけです。この年は、シドニーオリンピック女子マラソンで、高橋尚子氏が金メダル、白川英樹氏にノーベル化学賞が贈られ、「IT革命」が流行語大賞を獲得していました。ちなみに千年前、1000(長保2)年には、藤原定子(藤原道隆の娘・『枕草子』の作者清少納言が仕えた)と藤原彰子(藤原道長の娘・『源氏物語』の作者紫式部が仕えた)がそれぞれ一条天皇の皇后・中宮になっていて、この後藤原道長・頼通父子による摂関政治全盛期を迎えます。

さて、目の前に生徒会誌「鶴友」36号2000があります。100周年を迎えたこの年、当時の梶原紘一校長先生は、巻頭文の中で次の3点を生徒に語りかけています。

- 1 地域や郷土とのかかわりの大切さ、熱心な誘致運動により設立された大高
- 2 「不易と流行」歴史と伝統を守り、一方で社会の変化に柔軟に対応する姿勢
- 3 現在の自分を見つめ、未来を展望し、自分の在り方を考えよう 以上要約

今年度も『大中正』の校訓のもと、学校教育目標として『至誠純真』『進取向上』『自主協同』を掲げ、学校運営に取り組んでいます。具体的には、「心の教育」を第一の柱として、「目指す生徒像」として次の7点をあげています。

- 1 向上心を常に持ち、学習や特別活動、部活動等に取り組む生徒
- 2 困難に負けずに、自分の道を切り開いていく生徒
- 3 他者を尊重し、思いやることのできる心豊かな生徒
- 4 地域を愛し、様々な活動を通じて、地域に貢献できる生徒

5 自身を理解し、様々な場面で堂々とした自己表現できる生徒

6 チャレンジ精神に溢れる生徒

7 「ありがとう」と素直に言える生徒

十数年前に、大先輩である梶原校長先生が語りかけたことを、微力ながら引き継いでいると確信し、おおいに勇気をいただいたところです。

また、同「鶴友」には、修学旅行のことも掲載されています。それによれば、

- 1 創立当時 初代校長の「県外には出さない」という方針の下、九十九里浜を徒歩
- 2 大正時代 箱根方面 早朝4時に学校集合 茂原駅まで徒歩 その後汽車
- 3 戦前 昭和10年 伊勢神宮・鳥羽・奈良方面
昭和15年 前白根山登山の夏期鍛錬旅行
- 4 戦後 昭和24年 戦後第1回 伊勢・奈良・京都
その後、広島・京都が長く続き、長崎方面→沖縄方面→長崎方面(27年度予定)

上記がすべてではありませんが、いつの時代でも、世の中が変わっても、修学旅行は心ときめくものです。それぞれの時代を背景とし、大高生は旅立っていったのでしょうか。皆様には、どのような思い出が残っていますか。

同窓の皆様には、地域を中心に様々な場面で、後輩をサポートしていただければ幸いです。皆様と連携して、家族を愛し、母校を愛し、地域を愛し、社会に貢献できるすばらしいハートを持った大高生の育成に取り組んでいければ最高です。

そのためには、説明責任も果たさなければなりません。折に触れて、大多喜高校の情報を広く発信し、皆様の御理解・御協力が得られますよう努力していきます。私も本校ホームページの「校長室だより」なるサイトで、生徒の活動を中心に、学校の様子をお伝え続けています。キーワードは、一貫して「応援してるよ!大高生」です。どうか、本校ホームページを御覧ください。

終わりに、同窓会がますます発展し、今後も本校から多くの有為な人材が輩出されることを祈念して挨拶とさせていただきます。



副会長に選出されて

千葉県立大多喜高等学校 同窓会副会長 加藤 茂範 (昭44高)

平成25年度の同窓会総会で、副会長に選出された加藤茂範(昭和44年度卒業)です。

私が高校生の頃、日本経済は高度成長期で、「物質的豊かさ」が至高の価値として追求されていました。反面、物価高・公害・「過疎過密」・大学紛争等の諸問題が顕在化していました。40年余後の現在、あらゆる面に渡るグローバル化の進展により日本の社会構造や生活意識に、大きな変化が生じています。「10年一昔」が「1年一昔」の感がするほど変化の激しい現代です。

どんなに時代が変化しようとも、学校の役割は普遍です。

教職に就き、母校に2回勤務した経験から申し上げれば、大高生は、実に真面目・純朴で、将来の目標に向けよく努力している姿が印象に残っています。人材育成に適した自然環境、地域や家庭の教育力の高さも加わり、伸張

度が大きいのが大高生であると実感しました。

母校は創立以来110年を超えました。一つの組織体が1世紀を超えて存続することは、その過程において関係各位の大変な努力があったと思います。地域の教育への熱い期待がそれを支えました。

現在、夷隅郡市を含む太平洋岸の地域は、「少子化」が顕著です。学校種を問わず「統合」が行われています。10年前、夷隅郡市に高校は6校ありました。その後、「統合」が進み平成27年度には、高校が2つになります。

「母校が存続し、発展すること」、これは世代の相違を問わず同窓生共通の願いだと思います。

同窓会の主な目的は、母校の支援と同窓生相互の親睦を深めることです。微力ですが、他の同窓会役員と協力しながら、尽力したいと思っています。同窓生の皆様のご協力を切にお願いする次第です。また、毎年10月には同窓会総会が開催されます。ご出席いただけましたら幸いです。

同窓生の声



名 前 今井 富雄 (昭46高)
現在の職業 (株)千葉教弘 代表取締役
主な経歴 千葉県教育庁東上総教育事務所
管理課長・次長
茂原市立本納小学校長
白子町立白湯小学校長
茂原市立茂原小学校長

テーマ「これからも人のために自分のために」

1. はじめに…南三陸町の皆さんから学んだこと

震災から半年後の2011年9月24日。私は、茂原市内の中・高校生を交えた茂原市民13名と一緒に被災地である宮城県南三陸町を訪れた。歌津地区伊里前でバスから降り、あの津波被害の光景を目の当たりにした。目を疑い言葉も失った。

私は、被災された方々や現地小学校長から当時の様子や避難場所を見聞きすること、地元の小中学生と交流し、少しでも元気になって欲しいとの企画に参加したのである。更に、勤務していた茂原小学校の子どもたちからのメッセージや千羽鶴を被災した学校の子どもたちに届けたいという願いも持ち合わせていた。

現地では、苦しみ悲しみを乗り越えようと気丈に振舞う人たちが、みんなのためにと県外の支援者宅まで食料品を受け取りに向かうリーダーの人たちに、今の自分の非力さを感じた。特に、私が一番心を痛めたのは、仮設住宅に住む母親から、「子どもたちは、誰にも会いたがっていないよ。話なんてないさ。」と口を閉ざしていることを告げられたことである。「偽善のために来たのではない。」と、どこかに言い訳をしたくなる自分がそこにいたことを今でも忘れずにいる。しかし、ミニ運動会や流しそうめん、風船飛ばしに参加した子どもたちや親御さんから笑顔がこぼれていたことがせめてもの救いであった。

2. 人を思い、人とともに生きる心を

私は、千羽鶴を届けてから、勤務校の廊下に掲示板を設けたり、校内放送を活用したりして、被災地の様子や被

災地の子どもたちのメッセージを伝え続けた。茂原市内の有志が南三陸町の子どもたちを「茂原の七夕」に招待した時には、児童会役員や、児童会担当者、若い先生方と共に学校に七夕の飾りを付け、冷房の利く図書室に招いて歓迎の言葉を述べるなど、できる限りの歓迎体制を整えた。

直接的に震災被害がなかった私たちは、歳月が経つにつれ震災の記憶が薄れてしまいがちである。また、「被災地の方々の今の生活は、非日常の生活が日常化している」ということも忘れてしまいがちである。私たち教職員は、常に私たちと被災者(地)と心のつながりを保ち、復興に向けて共に歩むことを教えてきた。

3. 南三陸町の方々への支援を続けて

私たち大人も、震災の記憶が薄れてきていることを危惧している。退職して今年目を迎えた私は、ささやかながら、私のできる被災地支援として、南三陸町歌津福幸(復興)商店街で販売されている商品(例えば、さんまの醤油煮・ピリ辛煮、おつまみ昆布、カリカリわかめ等)を、友人や地域の方々に購入してもらっている。どれも皆さんにも喜んでいただきながら、支援をいただいている。大高OBの皆さんも、是非支援にご協力をお願いしたい。連絡をください。

4. 終わりに…ボランティア活動を通して

「自分の命は自分で守る」ことを教えたい。これは私が40代後半から子どもたちの指導に心がけてきたことである。大震災で「命でんでんこ」の言葉とともに誰もが口にするようになった言葉である。震災前までは、交通事故、水難事故等から身を守るための「先見性」を身につけることの大切さや、「自分がけがをしたのでは、人を助けることもできない(共助)。という自覚を持って常に行動する」ことの大切さを学んで欲しいと願ってきた。退職後は、高い確率で発生するであろう地震や津波災害から、私たちが「自分の命は自分で守る」ために今できることの啓発活動に取り組んでいる。防災士や千葉県災害対策コーディネーター、また地元消防本部から応急手当普及員として認定を受け、地域や小中学校に自衛・共助の大切さを広めたいと微力ながらボランティア活動を始めている。

支部・OB会だより

▶▶ 大多喜支部

大多喜支部通常総会が平成26年5月21日に林教頭先生、竹山同窓会事務局長をお迎えし、会員40名の出席を得て開催されました。

通常総会は次第に添って事業報告、決算報告、新年度事業計画(案)、新年度予算(案)が審議され、原案どおり承認されました。

新年度事業計画については、通学の要「いすみ鉄道支援策」から「大多喜高校通学路への植栽事業」、更には「ゴルフ大会等、会員間の親睦(案)」が熱心に審議されました。特に自由テーマは、大多喜支部規約第2条「本支部は会員相互の親睦と調和を高め、母校及び同窓会の発展、並びに地域の発展に寄与することを目的とする。」と

なっているが、最近は大多喜高校の教職員そして生徒の姿に学ぶことが多いとの話題で終始しました。

教職員の皆さまは卒業生に対しても親身になって相談を受け、時には積極的な声掛けがあります。生徒は訪れる観光客を始め、道行く人に笑顔で挨拶する姿があります。更には大多喜高校校庭(大井戸・薬医門見学)を訪れる観光客にわかりやすく大多喜町の歴史を説明する等、生徒・教職員一体となった自然な「おもてなし」に「こんな気持ちの良い町は初めてです。」「また来たくまりました。」等、賞賛の声が数多く聞かれるようになりました。大多喜高校は「文武両道」、「質実剛健」の理念に加え、地域愛と心の教育が全体的に行き届いてきたことを痛感しながら母校の「誇り」とできる限りの支援を約束し、支部総会が終了いたしました。

▶▶ 女子高支部

女子高支部長 櫻井 榮子

- ・日 時 平成26年5月25日(日)
- ・場 所 大多喜高等学校

女子高支部では5月25日(日)に大多喜高校会議室にて石川和之校長、竹山亮宏同窓会事務局長、鈴木基悦先生を来賓としてお迎えし、40名の出席を得て総会を開催しました。

石川校長先生より平成16年に統合してから、生徒、先生、地域に恵まれ気持ちよく勤務させていただいている。学校の応援団長として部活動等の応援に努めているとお話がありました。事務局竹山先生からは、今年度より事務局長となられたこと、進路指導、学習指導、部活動等学校の現況について報告がありました。また今年は、大多喜女子高校に長く勤務された鈴木先生にも出席いただき、女子高時代の思い出話を聞きました。

総会では25年度事業報告、決算の承認等、26年度事業計画案、予算案、役員改選について審議され原案どおり承認されました。午後のアトラクションでは昨年と同様に

「アコーディオンいちばら」の皆さんによるアコーディオン演奏と同窓生の清水葉さんに独唱をお願いしました。アコーディオン演奏にあわせての合唱。季節にふさわしい選曲に楽しいお話しと笑いあふれる歌声となりました。清水さんの美しい歌声にうっとり耳を傾け、ミニコンサートではアコーディオンの音色をじっくりと聞き、なごやかな雰囲気の一時でした。思い出話に花を咲かせ来年新緑の中での再会を楽しみに散会しました。



千葉県立大多喜高等学校同窓会 女子高支部
第11回総会 平成26年5月25日

▶▶ サッカ一部OB会

第13回大多喜町近隣少年サッカー大会

12月14日(土)、大多喜町海洋センター多目的広場で、第13回大多喜町近隣少年サッカー大会が開催されました。

この大会は、子どもたちにスポーツ実践の機会を与え、体力・技術の向上とスポーツの高揚などを目的に、大多喜高等学校サッカー一部OB会が毎年開催しているものです。

今大会は、夷隅郡市内から16チームが参加し熱戦が繰り広げられました。

大勢の保護者が見守る中、選手たちは一生懸命相手コートに攻め入り、とても緊迫したゲーム展開となりました。

優勝決定戦に駒を進めたのは、前大会を含め過去4回の優勝を誇る王者大原FCを2回戦で破った御宿FCと年々チーム力をつけてきた東海FCが対戦し、両チームともに譲らず、試合はPK戦にもつれ込みました。

その結果、4対3で御宿FCが大会初優勝を飾りました。

試合結果

- 優 勝 御宿FC
- 準優勝 東海FC
- 3 位 長者FC



平成26年度経友会総会開催

4月17日、ポートプラザ千葉を会場に、20名の同窓生が出席して、平成26年度の経友会総会が開催されました。

経友会は当初、主として千葉地区周辺に居住する同窓生が、母校の支援と会員相互の親睦を目的に発足しました。現在は、総会と年2回(春・秋開催)のゴルフコンペを実施しております。コンペは、母校近くのゴルフ場を会場に行われ、現在までに60回を超えております。本年度の総会では、10年あまり会長を務めた野口幸雄さん(昭和32年度卒)に替わり、引田紘一さん(昭和33年度卒)が会長に選出されました。野口さん、長い間ご苦労様でした。

同窓生のゴルフコンペ参加を歓迎いたしますので、連絡をお待ちします。



連絡先

- 会長 引田 紘一(33年度卒)
090-2458-2957
- 幹事 秋田 幸一(46年度卒)
090-3217-9493
- 幹事 太田 雅彦(58年度卒)
090-8872-1912

平成25年度 同窓会総会報告

平成24年度 同窓会決算報告書

● 一般会計 ●

1 収入支出対照表

収入総額	支出総額	残 額	説 明
5,398,264円	2,361,706円	3,036,558円	翌年度へ繰越

2 収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額	比 較		説 明
			増	減	
繰越金	2,880,840円	2,880,840円	0円	0円	平成23年度繰越金
会費	0円	0円	0円	0円	
入会金	940,000円	925,000円	0円	15,000円	5,000円×185名
賛助金	2,000,000円	1,530,120円	0円	469,880円	同窓会報発行賛助金
雑収入	500円	62,304円	61,804円	0円	寄付金・預金利息
計	5,821,340円	5,398,264円	61,804円	484,880円	

3 支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	比 較		説 明
			増	減	
会議費	250,000円	21,043円	0円	228,957円	総会補助、役員会費
運営費	150,000円	64,228円	0円	85,772円	事務費、通信費
活動費	600,000円	461,930円	0円	119,920円	支部活動費、旅費等
広報費	2,000,000円	1,814,505円	0円	185,495円	同窓会報発行代
雑費	80,000円	0円	0円	80,000円	慶弔費
予備費	2,741,340円	0円	0円	2,741,340円	
計	5,821,340円	2,361,706円	0円	3,441,484円	

● 特別会計 ●

1 収入支出対照表

収入総額	支出総額	残 額	説 明
1,793,939円	0円	1,793,939円	翌年度へ繰越

2 収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額	比較(減△)	説 明
繰越金	1,793,939円	1,793,939円	0円	平成23年度繰越金
雑収入	500円	287円	△ 213円	預金利息
計	1,794,439円	1,794,226円	△ 213円	

3 支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	比較(減△)	説 明
繰出金	0円	0円	0円	
予備費	1,794,439円	0円	1,794,439円	
計	1,794,439円	0円	1,794,439円	

監査報告書

諸帳簿並びに証拠書類を精査したところ、適正であることを認めます。
平成25年8月6日

監事 酒井多門 @
渡辺雅文 @



いすみ鉄道関連ニュース第42号

全国高校生地方鉄道交流会に参加

8月5日(月)に今年で第2回目となる、全国高校生地方鉄道交流会が大多喜町中央公民館で開催されました。3日間にわたり、いすみ鉄道を題材にして、地方鉄道の活性化について意見交換会、取材、プレゼンテーションが行われました。本校のこれまでのいすみ鉄道支援活動が高く評価されたため参加を要請されました。初日の意見交換会に本校生徒会(3D奥山美幸さん、3B磯野千鶴さん、2B岩瀬百葉さん)が代表として出席し、これまでの本校のいすみ鉄道支援活動の取組について発表を行いました。参加校である東京の私立岩倉高校、成城学園高校、安田学園高校の生徒のみならずと活発な意見交換を行い、今後の活動の協力などについても話し合うことができました。



いすみ鉄道支援 取り組みを報告
東京の高校生が大多喜に来た



お城まつりの御案内!!

第39回大多喜お城まつりが9/28(土)~29(日)(雨天中止)に開かれます。大多喜の秋を彩る「大多喜お城まつり」は昭和50年に県立総合博物館(現・千葉県立中央博物館大多喜分館)が大多喜城本丸跡に建設されたことを記念し開催されたのが始まりで、今年で39回目となります。お祭り当日は、徳川家康公の関東入国に際し10万石を与えられた大多喜城主となった本多忠勝侯一行による武者行列のほか、前夜祭では城下町通りの光アート展など、イベントが盛りだくさんです。いすみ鉄道を利用して、お城まつりを見に来ませんか。

- 生徒会による観光ボランティア(9:00~ 大多喜駅前)
- いすみ鉄道をご利用のお客様(先着200名)に指運券を配布のお手伝いを行います。
- 鉄道部によるお城会(10:00~ 大多喜城分館研修室)
お城のみならずお城会も開かれます。
- 秋葉駅周辺の清掃(午後~ 大多喜小学校グラウンド)

【裏面に続きます。】

NHK取材~菜の花ラインに乗りかえて~

9月10日(火)の放課後に実施した駅清掃のときに、NHKによる取材を受けました。これは、NHK千葉放送局開局70周年を記念した番組『菜の花ラインに乗りかえて』(BSプレミアム10月9日午後10時から放送)の番組宣伝の一環として、いすみ鉄道沿線の紹介の中で本校といすみ鉄道とのかわりをお知らせするためのものです。菜の花の種まき、マンドリン・ギター列車、駅清掃などの取組について取材を受けました。



日頃から私たちの通学の足となっているいすみ鉄道への感謝の気持ちを込めて駅清掃を行っているという場面は印象的でした。これからも継続していすみ鉄道支援活動に取り組んでいきたいという気持ちも伝えました。9月28日(土)にはBSコンシェルジュの公開録音が行われますから、先生方も生徒のみならず時間もあれば是非足を運ばれたらと思います。(事前に配布した入場券が必要です)

大盛況マンドリン・ギター列車

いすみ鉄道の列車に揺られながらマンドリンの音色の響きに耳を傾け、車内の皆さんと一緒に歌を口ずかしながら楽しいひと時を過ごす、マンドリン・ギター列車が6月8日(土)に行われました。今年は、読売新聞・千葉日報にて事前の告知をしていただき、当日は、ホームにあふれるくらいのお客さんの歌でした。NHKの取材も受け、夕方のニュースで放映されました。遠くは北海道からお越しいただきました。また来年も楽しみにしててください。



【読み終わりましたら、保護者の方にも御一読いただきたいと思います。】



いすみ鉄道関連ニュース 第43号

平成26年3月20日
千葉県立大多喜高等学校
生徒会・いすみ鉄道対策委員会

景観まちづくりフォーラムに参加

11月9日(土)に千葉県とNPO法人が主催する「景観まちづくりフォーラム」に参加してきました。この夷隅地域は、いすみ鉄道を中心に人々が暮らし、まちづくりが進められており、私たち大多喜高校もその中の一に入っていると思います。そこで、本校がこれまでいすみ鉄道と共に取り組んできたことを紹介する機会を与えてくださいました。当日は、駅前の観光本陣に大勢の方々が来場し、いすみ鉄道を支える多くの方々と一緒にお話をすることができました。今後は、さらに地域の方々との連携を深めて取り組んでいきたいと実感しました。詳細は県のホームページからどうぞご覧ください。



(→ <http://www.pref.chiba.lg.jp/kenzan/3ei/samizuru/semi-forum/2013/20131109-1semi-forum-koika.html>)

NHKラジオに生出演!!

12月19日(木)にNHKラジオ第一「こはふるさと」放送のラジオの生放送に出演しました。いすみ鉄道支援活動の取組について、生徒会長の若藤百葉さん(2B)といすみ鉄道対策委員長の鈴木結衣さん(1A)が、大多喜周辺の自然保護の調査活動について生物部のみなさんがそれぞれ出演しました。



本校のいすみ鉄道支援活動の紹介をする中で、いすみ鉄道の島塚社長と「家訓列車」の復活への話を持ち上げました。これはかつて演劇部が行っていた活動ですが、今後の発展を期待したいものです。また、中学校時代のいすみ鉄道支援活動を大多喜高校に入学しても継続して行い、そんな気持ちで本校に入学したというエピソードも明かされました。生物部のみなさんは、豊かな自然に恵られた大多喜の現状や害獣による被害など様々な紹介を行いました。



生放送ということもあって緊張した場面もあったと思いますが、本校の紹介を立派に行ってくれました。

[裏面に続きます。]

廃線の危機を救え～愛知から取材へ～

3月2日(日)に愛知県の西尾市からお客様がお見えになりました。みなさんは、愛知県の南部を走る名鉄西尾・蒲郡線の応援団の磯田洋さんとケーブルテレビの小林さんです。今回本校を訪問された目的は、いすみ鉄道と同じように名鉄西尾・蒲郡線も赤守線として廃線の危機にあり、地域の方々による存続のための支援活動の進め方について学ぶというものでした。その中の一つとして、本校の特色ある活動を知り、取材に集られたというわけです。この路線にも多くの高等学校があり、様々な支援活動が行われているようです。今回の取材を通して、同じような思いで活動に取り組んでいる高校生たちが多くいることで、今後は連携をしていきたいと考えました。大多喜高校の活動が何かの参考になれば大変うれしいです。さて、この放送は千葉県では見ることができませんが、放映後に番組録画したものを送っていただけたらというごとので、今年の明善祭で上映したいと考えております。お楽しみにしてください。



◆◆お知らせ◆◆
愛知県の大多喜とのつながりの強さの強さです。それは、大多喜線の存続の危機にあり、地域の方々による存続のための支援活動の進め方について学ぶというものでした。その中の一つとして、本校の特色ある活動を知り、取材に集られたというわけです。この路線にも多くの高等学校があり、様々な支援活動が行われているようです。今回の取材を通して、同じような思いで活動に取り組んでいる高校生たちが多くいることで、今後は連携をしていきたいと考えました。大多喜高校の活動が何かの参考になれば大変うれしいです。さて、この放送は千葉県では見ることができませんが、放映後に番組録画したものを送っていただけたらというごとので、今年の明善祭で上映したいと考えております。お楽しみにしてください。

今年度の取組から

今年度もみなさんのご協力で、いすみ鉄道支援活動を行うことができました。ありがとうございます。11月に城見ヶ丘駅周辺にまいた菜の花の種は、2月の大雪にも耐えて咲きはこぼりています。今年度もこれまでの活動を継続しつつ、いろいろな方々と協力をしながら取り組んでいきたいと考えています。また、今年は大多喜町役場の企画財政課のみなさんからたくさんご支援をいただきました。駅清掃のための新しい清掃用具はその一つです。感謝申し上げます。次年度の取組に向けて、何かご意見がありましたらお聞かせください。よろしくお願ひ致します。

▼城見ヶ丘駅周辺の撮影(2月17日)



保護者の方にも御一読していただけたらと思います。

▼取材記事



いすみ鉄道関連ニュース 第44号

平成26年6月9日
千葉県立大多喜高等学校
生徒会・いすみ鉄道対策委員会

今年度の取組について

今年度も大多喜高校生会・いすみ鉄道対策委員会を中心に、いすみ鉄道への支援活動を積極的に進めていきます。昨年度は、駅舎清掃・車庫清掃、いすみ鉄道プロジェクト会議、各種行事への参加などに加えて、菜の花の種まき、全国高校生生地鉄道交流会への参加などを行いました。その活動の様子を各種メディアでも紹介されたのは、みなさんもご存知のことと思います。これまでの取組をさらに発展させるために、今年度も継続した取組を行っていきます。大多喜高校の生徒・保護者・先輩の皆さん、地域の方々、関係する多くの皆さんのこれまでのご協力に感謝するとともに、これからも引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。

い鉄清掃について

①担当クラス・実施日時・乗車時刻

任務(上掲中野行き)	大多喜駅	小谷松駅	東総元駅	総元駅	乗車 15:40 中総元乗車
15:59	16:02	16:05	16:10	②準備 島原の清掃用具を配布	
16:46	16:42	16:39	16:34	③清掃 駅舎・ホーム周辺の掃き掃除	
5月27日(火)	1B	1C	1D	生徒会	※小谷松駅・東総元駅がリタング持参
6月10日(火)	3A	2A	1A	生徒会	※駅舎内へ立ち入りしない
7月10日(木)	3B	3A	3C	生徒会	※線路内へ立ち入りしない
9月11日(木)	3C	3B	3D	生徒会	※線路内へ立ち入りしない
10月28日(火)	3D	2A	1A	生徒会	※線路内へ立ち入りしない
11月18日(火)	2B	2C	1B	生徒会	※線路内へ立ち入りしない
12月11日(木)	3A	2D	1C	生徒会	※線路内へ立ち入りしない
1月19日(火)	3B	3C	3D	生徒会	※線路内へ立ち入りしない
2月17日(火)	2A	2B	1D	生徒会	※線路内へ立ち入りしない
3月18日(金)	2C	2D	1A	生徒会	※線路内へ立ち入りしない

②担当の先生方

大多喜駅(阿部先生・各務先生) 小谷松駅(菅根先生)
東総元駅(鈴木先生) 総元駅(森田先生)
各担当クラスの学級担任・副担任の先生

③その他

- 平日日課の場合は、その都度連絡します。
- 都合によっては、列車清掃に代替することがあります。



[裏面に続きます。]

マンダリン・ギター列車が走りました!!

日頃お世話になっているいすみ鉄道への感謝の気持ち、少しでも多くの人にいすみ鉄道を利用してほしいという気持ちを込めて行っているこの企画も今年で7回を迎えました。いすみ鉄道の列車に揺られながらマンダリンの音色の響きに耳を傾け、車内の皆さんと一緒に歌を口ずさみながら楽しいひと時を過ごす、マンダリン・ギター列車。

今年は大高の影響でいすみ鉄道が運転を見合わせ中、大多喜駅に停車中の列車の中での演奏会となりました。しかし、多くのお客様が応援してくださいました。本当に感謝します。今年も、読売新聞・千葉日報にて事前の告知をしていただき、またNHKの取材も受けましたので、後日の放映を楽しみにしてください。



菜の花の種の収穫&サルビアの植栽

昨年の11月に城見ヶ丘駅周辺にまいた菜の花が咲き誇った後花壇から、たくさんの菜の花の種を収穫しました。5月27日にいすみ鉄道対策委員会と生徒会のメンバーで、そのあとの花壇にサルビアの苗を植付けました。赤い花がきれいに咲いていて、見る人の目を楽しませています。また花壇の半分が残っていますので、夏に咲く花を植栽したいと思います。ぜひ、城見ヶ丘駅まで足を運んでみてください。



▲4月17日の城見ヶ丘駅の花壇の様子

▲校長先生も草刈り作業をしてくださいました。

保護者の方にも御一読していただけたらと思います。



いすみ鉄道関連ニュース第45号

平成26年6月27日
千葉県立大多喜高等学校
生徒会・いすみ鉄道対策委員会

中高生いすみ鉄道存続プロジェクト会議開催

第15回中高生いすみ鉄道存続プロジェクト会議が本校で開催されました。毎年1回、いすみ鉄道沿線の大原中学校、国吉中学校、大多喜中学校、西中学校、大原高校、大多喜高校の6校が集まり、活動報告や今年度の新たな取組について話し合いをしました。今年度は島塚社長を招いて、新たな提案を行いました。沿線をめぐる視察ツアー、車内ラジオ、CM制作など次々と面白いアイデアが提案され、社長からもおもしろいと好評を得ました。今年もこの6校を中心に、お互いに協力しながら、いすみ鉄道支援活動を積極的に実施していきます。



アテナント体験の募集

いすみ鉄道を走る急行列車の車掌業務の一部を体験するアテナント体験を募集します。将来、鉄道や観光業などで働きたいと考えている人にとっては、絶好のインターンシップ（職業体験）の機会となると思います。また、自分たちの通学の足を支えてくれているいすみ鉄道での体験ですので、日頃から鉄道に興味のある方は是非応募してみてください。前回は7名のみなさんが参加してくれましたが、今回はより多くのみなさんの参加をお待ちしております。以下の内容です。詳細を知りたい人は、森田（主）先生のところまで来てください。

【説明会】 7月2日（水）12:55 社会科教室に集合

- | 【日にも】 | 【時間】 |
|-----------|----------------------------|
| ①7月20日（日） | 11:00 大多喜 集合 |
| ②7月27日（日） | 11:38 大多喜 発 ⇒ 12:00 上総中野 着 |
| ③8月 3日（日） | 12:14 上総中野 発 ⇒ 13:25 大原 着 |
| | 13:52 大原 発 ⇒ 14:26 大多喜 着 |



【裏面に続きます。】

明善祭が行われました!!

第37回明善祭が6/21（土）に行われました。今年度は、地域の振興を兼ねて、マスコットキャラクターが大集合して盛り上げてくれました。いすみ鉄道対策委員会の展示室では、いすみ鉄道の現状と歴史、いすみ鉄道関連ニュースの紹介、いすみグッズの販売のほかに、シミュレーションゲームの体験コーナーとNゲージ運転体験コーナーを設置しました。実際に体験できるコーナーだけあって、多くのお客様に楽しんでいただきました。また、いすみグッズも販売することができました。ご来場の方ありがとうございました。

鈴木先生が作成した駅の模型の展示です。お隣ではいすみ鉄道対策委員会の展示室が設けられています。



いすみ鉄道対策委員会の展示室の様子です。



ジャケットを作りました!!

さて、この写真は何だかわかりますか？ そうです。顧問の鈴木先生が着ていらっしゃるジャケットは、いすみ鉄道対策委員会ロゴとイラストが入った応援ジャケットです。聖清様や様々な支援活動のときにはいつでもこれを着用して活動して、いすみ鉄道をPRしようというものです。竹山先生のご協力もいただいて作製しました。みなさんのご協力に感謝いたします。



6月12日（木）にBSプレミアム（NHK）による取材がありました。生徒会、いすみ鉄道対策委員会、マンドリン・ギター部のみなさんご協力ありがとうございました。放映日がわかりましたら改めてみなさんにお知らせいたします。

保護者の方にも御一読していただけたらと思います。

部活動状況

平成26年 第38回全国高等学校総合文化祭

美術・工芸部門 柳 亜夢（3A）
石井 光希（3C）

	男	女	計
柔道	9	0	9
剣道	20	15	35
陸上競技	16	14	30
弓道	22	26	48
野球	34	6	40
ソフトテニス	17	10	27
バレーボール	12	21	33
バスケットボール	11	12	23
サッカー	21	2	23
卓球	8	8	16
生物	19	0	19
美術	3	20	23
書道	0	20	20
マンドリンギター	6	18	24
演劇	2	7	9
英語	1	15	16
吹奏楽	2	24	26
茶道	0	19	19
華道同好会	0	17	17



平成25年度進路状況報告 進路指導主事 佐藤幸生

2014年度入試を振り返ると・・・

今春は18歳人口が前年の123万人から約5万人減少し118万人となりました。率にすると4%の減少です。これに伴って、大学志願者数も前年の68万人から66万人へと約2万人減少した見込みです。1月に実施されたセンター試験の受験者数も、前年から約1万1千人減少(前年比98%)しました。

入試の傾向としては、理系生の増加が続いており、理系各系統の人気の高まりが感じられます。今春は大学志願者数そのものが減少しており、昨年までのような理系生の大幅な増加は見られなかったものの、前年と同じ約20万3千人となりました。一方、文系生は前年から約8千人減少しました。ここ数年の、理系人気は継続していると見てよいでしょう。

また、私立大ではインターネット出願や受験料割引、一度に複数の学部・学科へ同時出願できる制度などを導入する大学が目立ちました。受験生が出願しやすい仕組みづくりは、2014年度入試においても拡大の様子がうかがえました。

今春も大学や学部・学科の設置が多くありました。大学の 신설では公立2大学、私立3大学が設置されました。近年の傾向として、医療系、教育系の学部・学科の 신설が目立ちますが、2014年度もこの系統の 신설が多く見られました。とくに看護については、全国で18校の新たな学部・学科が設置されました。

最後に大高生の大学受験についてですが、この春大学に進学した92名のうち、一般受験によるものは26名です。一般受験する者が少数派の時代が続いていますが、ここ数年わずかですが増加傾向にあります。また、専門学校への進学者が全体のほぼ4分の1の40名と、例年通りの傾向でした。

昨年度の本校の進路指導の概要

- (1) 進路説明会〈3年〉4月
外部講師等による分野別(大学・短大・専門学校・就職など)進路説明
- (2) 夏期・冬期実力養成講座授業、進学課外授業
- (3) 1年大学見学会(バス) 千葉大学・明治大学 7月
- (4) 看護体験 7・8・11月
鶴舞看護専門学校、いすみ医療センター、公立長生病院、大多喜病院、君塚病院他
- (5) 大学出張講義体験会 11月
神田外語大・日本大・東邦大・女子栄養大・武蔵野美術大・千葉県立保健医療大・帝京平成大等の講義
- (6) 保護者進路説明会 11月 大学研究家 山内太地氏
「時間と学費をムダにしない大学選び」
- (7) 進路講演会 12月 千葉工大・未来ロボット技術研究センター所長 古田貴之氏
「fuRo 未来ロボットが世界を変える！」
- (8) 2年進路説明会〈2年〉12月
大学・短大・各種専門・民間就職・公務員の進路説明
- (9) 進路報告会 3月 卒業生の体験談ほか
(静岡大、獨協大、神田外語大、産業能率大、植草学園短期大、千葉県立鶴舞看護専門、JR東日本、千葉県警)

平成25年度卒業生主な進学先

〔四年制大学〕

静岡大、都留文科大、千葉県立保健医療大、明治大、中央大、学習院大、東京理科大、日本大、東洋大、成城大、国学院大、順天堂大、武蔵大、国土館大、文教大、玉川大、神田外語大、獨協大、昭和女子大、和洋女子大、女子栄養大、千葉工業大、工学院大、神奈川大、淑徳大、武蔵野大、帝京大、城西国際大、敬愛大、亀田医療大ほか

〔短期大学〕

千葉敬愛短大、植草学園短大、東京経営短大、日本大学短期大、鶴見大学短期大、國學院大学北海道短期大

〔専門学校〕

千葉県立鶴舞看護、船橋市立看護、社会保険船橋保健看護、亀田医療技術、千葉医療福祉、国際理工情報デザインほか

〔公務員・民間就職〕

JR東日本、ネットヨタ千葉、亀田総合病院、千葉県警、陸上自衛隊ほか

平成25年度卒業生進路状況

種別 性別	大学		短大		専門学校	就職		浪人・他	合計
	国公立	私立	国公立	私立		民間	公務員		
男	2	48	0	2	17	2	2	6	79
女	2	40	0	6	23	4	0	5	80
計	4	88	0	8	40	6	2	11	159

事務局だよ!

●平成25年 年度末人事異動

《退任された先生方》

- 岩瀬 守男 (地歴公民科) 平成15年より11年間 ※一宮商業高校へ再任用
- 手塚 幸夫 (理科) 平成20年より6年間 ※大原高校へ再任用
- 庄司 宏 (理科) 平成21年より5年間 ※大多喜高校へ再任用(継続)
- 渡辺 清美 (嘱託技能員) 平成24年より1年間

《転任された先生方》

- 佐生 裕美 (事務・主査) 平成22年より4年間 ※大原高校へ
- 高梨 義弘 (兼任・保健体育科) 平成25年より1年間 ※市川南高校へ
- 東條木綿子 (スクールカウンセラー) 平成20年より6年間 ※鶴舞桜が丘高校、大原高校へ

《転入された先生方》

- 各務 敬 (地歴公民科) 長生高校より ※再任用
- 早川 隆雄 (数学科) 勝浦若潮高校より ※非常勤講師
- 米倉 一英 (理科) 大原高校より ※再任用
- 庄司 宏 (理科) 本校より ※再任用
- 小川 一大 (理科) 清水高校より ※新規採用
- 弓能家雅宣 (保健体育科) 本校より ※再任用
- 森田 仁 (保健体育科) 大原高校より
- 村松 久子 (家庭科) 本校より ※非常勤講師
- 森川 文恵 (事務・主査) 東金商業高校より
- 石井 太秀 (嘱託技能員) ※新規採用

●異動連絡のお願い

住所等の異動の折には郵便はがきなどで同窓会事務局にご連絡ください。同窓会関係の郵便物が宛先不明で返送されますと会員名簿上での住所は空欄となります。同窓会事務局では少しでも正確な情報を把握しておきたいと考えておりますので、ご協力よろしくお願い致します。

●原稿募集のお願い

同期会・クラス会・OB会等を開催されましたら、会報に掲載しますので、ご連絡をお願い致します。また、同窓生の皆様からの寄稿をお待ちしています。あるいは、原稿をお願いできる方をご推薦ください。

●会報維持費のお願い

第6号より年1回の定期的発行となり、皆様方から会報維持費として1口千円でご協力をお願いしております。昨年は、956名より1,916,940円の維持費(振込額から料金を差し引いた金額)が送られて来ました。本当にありがとうございました。1号発行するためには、約180万円かかります。会報の発行は皆様の会報維持費と広告料で成り立つものです。是非とも賛助金のご協力をお願い致します。

●振り込め詐欺被害にご注意ください

勝浦警察署から担当者が来校され、同窓生の親御さん、特に50歳から70歳前後の方が被害に遭われているとのことでした。

●個人情報について

個人情報についてですが、同窓会員の情報は(株)サルトにて一括管理されています。これは、会報の発行や名簿作成のためです。それ以外の使用は一切行っておりませんのでご承知ください。

●役員名簿

会 長	山口 登 (昭37高)
副 会 長	福山 悦男 (昭29高)
	近藤 万芳 (昭32高)
	太田 洋 (昭41高)
	猿田 寿男 (昭42高)
	加藤 茂範 (昭44高)
	櫻井 榮子 (昭29女)
稲村千代子 (昭35女)	
監 事 (会計監査)	酒井 太門 (昭41高)
	渡辺 雅文 (昭43高)
顧 問	小高 芳男 (昭22中)
	齋藤 萬祐 (昭32高)
支 部 長	大多喜 鳥居 浩 (昭40高)
	大 原 不在
	勝 浦 猿田 寿男 (昭42高)
	茂 原 村杉 仁 (昭31高)
	千 葉 (千葉大高会) 福山 悦男 (昭29高)
	岬 太田 雅晴 (昭42高)
	女子高 櫻井 榮子 (昭29女)

【支部長は各支部で選出していただいています。】

平成26年度 同窓会総会・懇親会のお知らせ

日時 **10月26日(日)** 午前11時20分～

場所 勝浦ホテル三日月

会費 男性 8,000円 女性 5,000円

お問い合わせ、お申し込みは、
下記までお願い致します。

TEL 0470-82-2621

(大多喜高校内・同窓会事務局)

ト 話 題

平成25年度

- ・勝浦大高会より、いすみ鉄道対策費として5万円の寄付をいただきました。ありがとうございました。
- ・茂原支部より、1万円の寄付をいただきました。ありがとうございました。
- ・千葉県教育委員会より平成25年度道徳教材活用推進校として研究指定を、文部科学省国立教育政策研究所より学習指導実践協力校として研究指定をそれぞれ受け、10月3日に公開授業を実施しました。
- ・本校野球部が、夏の選手権大会予選の開幕戦を引き当て、QVCマリフィールドにて勝利を収めました。この様子はテレビでも放映され、大活躍しました。

平成26年度

- ・勝浦大高会より寄付していただいた5万円をいすみ鉄道対策費として明善祭の準備費として使用しました。
- ・千葉県教育委員会より平成26年度特色ある道徳教育推進校として指定を受け、10月9日に公開授業を行います。
- ・本校による、いすみ鉄道への支援活動の取り組みがテレビやラジオ、雑誌など多くのメディアに取り上げられました。今後も生徒会やいすみ鉄道対策委員会を中心に積極的に取り組んでいきます。
- ・今年度の野球部の活躍に際し、大多喜支部より2回にわたり、合計6万円の寄付をいただきました。ありがとうございました。
- ・6月の千葉県議会にて、本校同窓会長の山口登氏(昭37高)が第66代千葉県議会副議長に選出されました。大変名誉あることであり、改めてお祝い申し上げます。